

JIS

転がり軸受－主要寸法－ 第2部：平面座スラスト軸受

JIS B 1512-2 : 2011

(JBIA)

平成 23 年 5 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	相 羽 繁 生	株式会社東郷製作所
	石 丸 尋 士	社団法人自動車技術会
	市 川 直 樹	独立行政法人産業技術総合研究所
	大 橋 宣 俊	日本ねじ研究協会
	遠 山 史 雄	日本精工株式会社
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所 (東京電機大学)
	田 淵 宏 政	社団法人日本バルブ工業会
	長 江 昭 充	社団法人日本工作機械工業会
	堀 功	日本工具工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 23.5.20

官 報 公 示：平成 23.5.20

原 案 作 成 者：社団法人日本ベアリング工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3433-0926)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 高増 潔)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 量記号	2
5 主要寸法	3
5.1 一般	3
5.2 単式平面座スラスト軸受	3
5.3 複式平面座スラスト軸受	3
附属書 A (参考) 単式平面座スラスト軸受の主要寸法の拡張方法	19
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	21
解 説	23

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本ベアリング工業会（JBIA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 1512:2000** は廃止され、その一部を分割して制定したこの規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 1512 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS B 1512-1 第 1 部：ラジアル軸受

JIS B 1512-2 第 2 部：平面座スラスト軸受

JIS B 1512-3 第 3 部：円すいころ軸受

JIS B 1512-4 第 4 部：外輪フランジ付きラジアル玉軸受のフランジ寸法

JIS B 1512-5 第 5 部：単列円筒ころ軸受のつばのない側及びつば輪の面取寸法

JIS B 1512-6 第 6 部：単列アンギュラ玉軸受の外輪正面の面取寸法

転がり軸受—主要寸法—第 2 部： 平面座スラスト軸受

Rolling bearings—Boundary dimensions—Part 2: Thrust bearings

序文

この規格は、2002 年に第 3 版として発行された **ISO 104** を基に、用語を追加するなど、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、単式平面座スラスト軸受及び複式平面座スラスト軸受の主要寸法について規定する。さらに、寸法系列 11, 12, 13, 14, 22, 23 及び 24 のハウジング軌道盤の実測内径の最小値及び軸軌道盤の実測外径の最大値を規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 104:2002, Rolling bearings—Thrust bearings—Boundary dimensions, general plan (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0104 転がり軸受用語

注記 対応国際規格：**ISO 5593:1997**, Rolling bearings—Vocabulary (MOD)

JIS B 0124 転がり軸受—量記号

注記 対応国際規格：**ISO 15241:2001**, Rolling bearings—Symbols for quantities (MOD)

JIS B 1514-3 転がり軸受—軸受の公差—第 3 部：面取寸法の最大値

注記 対応国際規格：**ISO 582:1995**, Rolling bearings—Chamfer dimensions—Maximum values (IDT)

JIS B 1515-1 転がり軸受—公差—第 1 部：用語及び定義

注記 対応国際規格：**ISO 1132-1:2000**, Rolling bearings—Tolerances—Part 1: Terms and definitions (IDT)

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS B 0104** 及び **JIS B 1515-1** によるほか、次による。